

令和5年度第1回大船渡市空家等対策協議会 議事録

1 開催日時及び会場

- (1) 日 時 令和5年7月28日（金）午後1時30分～3時20分
- (2) 会 場 大船渡市役所 議員控室

2 出席者

- (1) 委 員 9名中、8名出席
 - ・大和田 完 一（盛岡地方法務局大船渡出張所長）
 - ・金 哲 朗（岩手県土地家屋調査士会沿岸支部会員）
 - ・倉 原 宗 孝（岩手県立大学総合政策学部教授）
 - ・小 松 佳 子（一般社団法人岩手県建築士会気仙支部会員）
 - ・畠 山 博 史（岩手県司法書士会県南支部会員）
 - ・常 陸 晃 一（一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会理事）
 - ・平 山 秀 子（大船渡市地区公民館連絡協議会大船渡地区公民館主事）
 - ・瀧 上 清（大船渡市長）
- (2) 事務局（市職員）5名
都市整備部長 金野尚一、住宅管理課課長 花崎誠、課長補佐 新沼千鶴子、
係長 笹野沢朗、係長 木川田舞

3 会議経過

- (1) 開 会
- (2) 挨拶 瀧上市長（会長）
- (3) 報 告（瀧上会長の進行、事務局より報告）
大船渡市空家等対策計画に係る令和4年度実績について
- (4) 協 議（瀧上会長の進行、事務局より説明）
大船渡市空家等対策計画に係る令和5年度計画について
- (5) そ の 他
 - ・委員からは特になし。
 - ・事務局より、今後の予定等について伝達。
- (6) 閉 会 午後3時20分終了。

4 質疑・意見の要旨

(1) 報告 大船渡市空家等対策計画に係る令和4年度実績について

〔委員〕 親の財産を相続したが、解体費用までは考えていなかったという事例が結構多い。例えば、遺産分割協議を行う段階で、そういう問題も含めて協議書に盛り込む等、しておくべきではないかと感じた。終活の一環として考えていく必要がある。行政の力でやるのが一番と思うので、情報提供・周知していただく必要があると最近感じている。

〔事務局〕 周知できるような方法を検討してまいりたいと思う。

〔委員〕 新たな空家がいくら発生したのかがあれば、わかりやすいと思う。ほとんどの原因は死亡か転居だと思うので、市民課の窓口で死亡届や転居届をする時に、アンケートなど渡して、数を把握するのがいいのではないか。

〔事務局〕 空き家台帳に登録する物件（補足：空家法で規定する空家等）については、1年間使用されていない、水道や電気等の使用が確認できなかったものとしており、やり方を検討してまいりたいとは思っている。

〔委員〕 計画策定の時にランク分けされた空家の数がどうなったのか、その増減を出したほうがよいのではないか。

〔事務局〕 ご指摘のとおり5年も経てば状況も変わってきていると思うので、新たにランク付けが必要になると思っており、毎年というのは難しいと思うが、順次進めて参りたい。

〔委員〕 情報によると、岩手県内で昨年辺り7、8件くらいの代執行が行われたと聞いている。恐らくこれから（補足：当市でも）出てくる可能性もあるだろうが、対象となってもいい事案はみられないか。

〔事務局〕 当市ではないと判断している。

〔委員〕 産業まつりのイベントブースを活用した相談会開催とあるが、建築士会では、以前は産業まつりの場で「住宅フェア」というブースを作って、耐震補強のミニチュア版やいろんな展示をやっていた。建築士会に協力を要望してもよろしいのではないか。

〔事務局〕 ご意見は参考にさせていただき、私達の方からもぜひご協力をお願いしたい。

〔委員〕 相談件数は年々増加傾向にあるので、これからも市からPRを継続して発信することが大切だと思っている。私自身、空家等対策協議会の委員になってからは市の広報をチェックしたり、意識が変わった。学習機会を継続して行うことが空家対策につながると思う。

〔委員〕 登録すると（補足：解体費用を）見積してくれるシステムがあると思うが、既に導入されているのか。

〔事務局〕 当市ではまだ導入していない状況。

(2) 協 議 大船渡市空家等対策計画に係る令和5年度計画について

[委員] 1の②について、空き家対策ガイドブックを活用するとある。有効的な活用を検討願う。

[委員] 何が空家を増やしているのか、根本的なところはやはり所有者の認識不足、自分の物でありながら責任を取っていないというのが結果的にそういう状況を生んでしまう。これは司法書士会に要望したいのだが、相続される方が来た時に、そう遠くない時期に解体が必要になってくるであろうと、そうしたときに遺産分割協議に盛り込んで、解体費用を誰がいくら出しますとか、相続した者が負担しますとか、あるいは全員で負担しますとか、きちんと説明して、認識してもらおう。その辺りから取り組んでいかないと、後手後手にまわっていずれ解体しようとしたときに問題が出てくる、というようなことが懸念されると思う。

[委員] 遺産分割協議書の工夫や空家の解体については、地域の司法書士の中でも深く情報共有して進めたいと思う。

[委員] 空き家住宅だけを対象にするのではなく、農地とセットで空家をうまく売却するとかいろいろ考えられると思う。

[委員] 農林課、農業委員会を含めた一体的な体制づくりをして、空家＝農地もほしい、という人のために、PRも必要だと思う。

[委員] 空き家バンクの登録をどんどん促す事業をやっていただけたらと思う。